

第7単元 暗算①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	40 (各5)	① 66    ② 97 ③ 70    ④ 63 ⑤ 91    ⑥ 73 ⑦ 52    ⑧ 81	【知技】2位数+2位数の暗算ができる。	被加数を分解する方法や加数を分解する方法など、いろいろ考えられるので、自分に合った能率的な方法を見いだしていくようにさせる。
②	10	72円	【知技】加法を適用する問題を、暗算で解決することができる。	問題場面をとらえやすくするために、テープ図などに表して考えるように促す。
③	40 (各5)	① 68    ② 43 ③ 56    ④ 42 ⑤ 7      ⑥ 48 ⑦ 7      ⑧ 49	【知技】2位数-2位数の暗算ができる。	暗算能力は一挙に伸ばせるものではないので、学習や生活の場面などにおいて、機会があるごとに練習の場を与えることが大切である。
④	10	17こ	【知技】減法を適用する問題を、暗算で解決することができる。	問題場面をとらえやすくするために、テープ図などに表して考えるように促す。

第7単元 暗算②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	まゆみ 順に、7、58、58、65、65 たつや 順に、50、7、15、15、65	【思判表】2位数+2位数の加法の暗算のしかたを、数構成に着目して2通りの方法で説明している。	筆算に慣れていた児童の中には、頭加法を基本とする暗算の方法にとまどうものがある。暗算の場合は、筆算のように固定した方法ではなく、考えやすい方法を用いればよい。要は、この程度の計算は念頭で処理できるようにするのがねらいであるので、特定の方法のみを強調することは避けるようにする。
②	しんご 順に、30、30、44、44、36、36 みどり 順に、70、70、32、32、36、36	【思判表】2位数-2位数の減法の暗算のしかたを、数構成に着目して2通りの方法で説明している。	

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	16問以上	15～10問	9～0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。